

平成29年

目黒区教育委員会

第38回定例会会議録

(平成29年10月10日開催)

第38回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成29年10月10日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	尾崎 富雄
	教育委員会教育長職務代行者	笹尾 敦夫
	教育委員会委員	後藤 幸子
	教育委員会委員	櫻井 道雄

出席職員	教育次長	野口 晃
	教育政策課長	山野井 司
	学校統合推進課長	増田 武
	学校運営課長	村上 隆章
	学校施設計画課長	照井 美奈子
	教育指導課長	田中 浩
	教育支援課長	酒井 宏
	統括指導主事	寺尾 千英
	統括指導主事	古舘 秀樹
	生涯学習課長	馬場 和昭
	八雲中央図書館長	石松 千明

書記		小野塚 幸隆
		山東 隆博

(議事日程)

- | | | |
|------|------|--|
| 日程第1 | 報告事項 | 平成29年第3回区議会定例会中の決算特別委員会での教育委員会に係る質問の答弁(要旨)について |
| 日程第2 | 報告事項 | 目黒区実施計画改定素案について |
| 日程第3 | 報告事項 | 目黒区財政計画(平成30年度～34年度)(素案)について |
| 日程第4 | 報告事項 | 目黒区行革計画改定素案について |
| 日程第5 | 報告事項 | 平成30年度区立幼稚園及びこども園の園児募集について |
| 日程第6 | 報告事項 | 目黒区教員育成基本方針(素案)について(案) |
| 日程第7 | 報告事項 | 区独自教材「Welcome to Meguro」の活用について |
| 日程第8 | 報告事項 | 平成30年成人の日のつどいについて(案) |

資料配布

- ・学校統合推進課だより(南部・西部地区版)No.21

(午前9時30分開会)

○教育長 第38回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員は中山委員です。欠席職員はございません。署名委員は後藤委員です。

それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 平成29年第3回区議会定例会中の決算特別委員会での教育委員会に係る質問の答弁(要旨)について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等がございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第2と日程第3は関連しておりますので、一括して議題とします。

(日程第2 目黒区実施計画改定素案について(報告事項))

(日程第3 目黒区財政計画(平成30年度～34年度)(素案)について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等がございますか。

○委員 学校の統合の問題で、区議会でも質疑応答があったということでしたけれども、今回の実施計画の中にも統合が課題として取り上げられています。そういった中で、学校統合推進課だよりも町会を通じて回ってきており、多くの方々が見ているという中で、統合の検討がどれほど進んでいるのかが見えにくいです。例えば平成30年度には予算が計上されておりますけれども、平成31年度以降はゼロになっています。

それから、評価シートの7ページのところに、統合の評価シートが出ていて、関連する課題のところ、学校施設の長寿命化、それから区立小中学校の児童・生徒数の推移が明記されています。長寿命化対策も進めなくてはいけない。一方では統合の問題がある。区立小中学校の児童・生徒数も小学校は増える傾向にあるけれども、中学校は逆に減る恐れがあるという問題もあります。長寿命化対策も児童・生徒数の推移も難しい問題がある中で、統合

を考えていくとなると、統合の評価の中身を具体化する必要があると思います。先ほど言いました予算の問題とも絡んできますが、平成31年度以降にどういう傾向になっていくのでしょうか。

○説明員

現行の実施計画では平成27年度に南部・西部地区における統合実施策の策定をし、平成28、29年度に統合実施策に基づいた取組みを行うということですが、実際にこのとおりには進んでいないことは事実でございます。

その理由といたしましては、学校施設の長寿命化等、東日本大震災の発生及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の建設業に対する影響、区立小中学校の児童・生徒数の推移の注視といった統合方針の改定時期に影響を与える課題があるからでございます。

このたび、実施計画等の改定において、あらためて年度別の案を掲げまして、お手元の資料の実施計画改定素案の個票の4ページ目にお示しをしておいででございます。平成30年度に統合方針の改定、平成31年度に協議組織の設置、統合新校整備方針の策定と、改定統合方針に基づいた取組みを行い、平成32年度以降に統合新校の整備を掲げてございます。

なお、こちらの案ですが、前回報告した所管案では金額等も記載した案として示しておりましたが、区では、区有施設見直し計画、区有施設見直し方針を策定し、今後40年間に延べ床面積を15%削減するなどの大きな目標を掲げております。学校施設につきましても、このような方針との整合性を図るものとしております。今後統合するに際しましても、このような区の方針に基づいて取り組む必要がございます。改築ですとか、大規模改修ですとか、その整備手法がまだ未確定であり、それによりまして大きく整備費に係る額も変わってくるものでございますから、今回におきましては、明示していないところでございます。

次に、評価シートの中での課題といたしまして、学校施設の長寿命化等、小中学校の児童・生徒数の推移の注視といったところがございます。改めまして、今後の統合方針の改定を次年度と予定しておりますけれども、それぞれの課題を踏まえながら、進めてまいりたいと思っております。

○委員

全体の流れは、ある程度は理解できるのですが、色々な問題が出てきます。長寿命化対策で具体的に統合とどう競合したり、問題になるのか。南部・西部地区の4校の長寿命化対策で何

らかの問題になっているのかどうか。児童・生徒数の推移についても、関係する学校の児童・生徒数の推移がどうなのかというような、丁寧な説明が必要だと思います。地域の方々は、この地域の小学生、中学生は増えるのか、減るのかということを出して言われますので、それに対する答えを用意する必要があると思います。

○説明員 学校施設の長寿命化等ですが、こちらにつきましては、平成26年度に、第七、第八、第九、第十一中学校の4校につきまして、耐力度調査を行っています。この調査は今後の施設の改修や他施設との複合化等を見据えまして、施設の老朽度を把握、統合新校の施設整備の検討に向けて、判断材料とするために実施したものです。

その後、文部科学省が耐力度調査の方法を見直すことを打ち出したことから、この調査結果については内部の参考資料にとどめております。また、同省は調査報告などの見直しについて、現在も検討中でありまして、その動向を注視しているところでございます。

また、区立小中学校の児童・生徒数の推移でございますが、目黒区におきましては、平成24年度と29年度を比較いたしますと、区立中学校の生徒数は約200人減少していますが、区立小学校の児童数は約1,000人増加しておりまして、近年著しい増加傾向にございます。そういったことから、その動向を注視しているところでございます。

なお、小学校の統合につきましては、このように近年、児童数の増加が著しいところでございますので、当面は考えていないところでございます。

○教育長 小学校の統合は、現時点で教育委員会事務局としては全く考えていないということが1つですね。それから、学校施設の長寿命化との関連については、個票の2ページで、学校施設長寿命化計画が32年度策定なので、32年度に長寿命化計画が策定できないと、学校統合が進まないとする、この個票の整合性が合っていないと思います。そのことを十分に踏まえてもらいたいと思います。

それから、小学生の児童数は確かにこの5年間で約1,000人増えておりますけれども、そのうち、区立中学校の在籍率は50%を超えていますので、500人は区立中学校に来ます。町丁

別にどこのところが増えるのかは、推定できるはずなので、どこの地域にどれだけの小学生が増えていくのか。その1,000人を追いかけていくことは可能なので、その分析はしていただきたいと思います。

それから、建築需給の逼迫はこれまでもあって、東山小学校の改築も3回不調になっています。今後、この計画に基づいて行っていった場合に、事務レベルでは、何年度にどういうものができていくのかはこれからですけれども、理想の姿ではなく、実現可能性のあるロードマップをこれから描いていくということによりお願いしたいと思います。

○委員 資料1の現行計画と改定素案に対して、どれだけ増減するかという円グラフがあります。ここだけを見ると教育の58億円が、改定素案では17億円に減っています。これは東山小学校の改築が終わったから減っているということを私は理解はできますが、区民の方や保護者が見たときに、どうしてこれだけの額が減っているのかわからないと思います。

○説明員 実施計画事業は、もともとは施設整備を計画的に行うということで、実際はソフト面も盛り込まれていますけれども、施設計画がもとになっています。その施設の面でいくと、東山小学校の改築が終わっていることの影響が出ています。

○委員 では、東山小学校の改築の前の教育費は、全体の5%、過去のものだと5%ぐらいだったのでしょいか。

○説明員 申しわけございません。以前との比較は、手持ちがございませんので、次回に確認の上でご説明したいと思います。

○委員 全体に、どれだけ教育に区がかけてくれているかというところを知りたいので、機会があったらお願いします。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第4を議題とします。

(日程第4 目黒区行革計画改定素案について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。

○委員 組織職員数の適正化と人材育成の取組みで、人材を最大限に生かすとなっていますが、時代とともに、新しい課題が生まれ、そ

れに対してサービスを提供すると、どんどん職員数が増えていく
と思います。一方で、その仕事を削っていかなくてはいけないけ
れども、なかなか削れない。職員数がほとんど変わらずに、どう
やっていくのか、教えていただきたいと思います。

○説明員 ご指摘の部分については、全区的な取組みで企画部門、人事部
門も、一体となって取り組んでいく課題です。

 行革計画を策定する一方で、職員の人材育成の方針も策定して、
やりがいのある職場、風通しのよい職場という中で、やる気を持
って仕事ができるような育成方針も掲げています。そういったも
のの総体として、厳しい中ではありますが、区民の皆様の期待に
応えるように行政を執行していこうということでございます。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
 特にないようですのでこの報告を受けました。
 次に日程第5を議題とします。

(日程第5 平成30年度区立幼稚園及びこども園の園児募集について(報告
事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。
 特にないようですのでこの報告を受けました。
 次に日程第6を議題とします。

(日程第6 目黒区教員育成基本方針(素案)について(案)(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。

○委員 3ページの時間を創出する環境整備の実施のところで、いろい
ろ部活動の外部指導員の配置、ICT機器の整備と書かれていま
すが、先生たちの持ち授業の時数は大体どれぐらいなのでしょう
か。恐らく担任の先生は他の先生より多いとか、専科の先生は多
くないなど、色々だと思います。その中で時間を創出するような
工夫はどうなのでしょう。

○説明員 授業時数に関しては、この基本方針に触れていないところで、
課題と思っています。ご指摘いただいた週当たりの持ち授業時数
ですが、平成28年度ですと、小学校で1週間当たり22.6コ

マ、中学校で20.6コマ持っておりまして、教員1人当たり午前中は確実に授業をしていて、小学校はさらに5時間目が2コマずつ入っているという形です。なおかつ次の日の4時間から5時間の授業の準備、当日の授業の反省、評価等をしなければいけないので、この授業時数が、教員の勤務自体そのものを圧迫しているのは事実です。

ただ、全員22.6コマかというところ、ご指摘のとおり、担任は小学校の場合は、26コマ、25コマ、24コマに6割程度います。実際には24コマ以上持っているのが担任です。少ない方でも12コマ程度という差がありますし、中学校は教科ごとですので、少ない方は9コマとか10コマという方も中にはいるので、学校の中でも持ち授業時数というのは差があるというところは感じております。

めぐろ学校教育プランでも、こういったところに視点を当てて、複数による道徳の授業を実施しようですとか、小学校でも副担任制を実施していきたいというような、方針は打ち出しております。

○教育長

Off-JTからOJTに移行していくというところは大変すばらしい着眼点だと思いますけれども、基本はOJTとOff-JTと自己啓発の有機的な連携がないと、これはなかなか進まないと思います。いかにOJT、Off-JTをしっかりとしたとしても、自分から学ぶ意欲がなければ、その人は伸びません。この中に明確に盛り込むことは難しいと思いますが自己啓発のことは、どこかに入れていただきたいと思います。

それから、検討していく過程で、教員の指導力向上に特化した形で、メリハリのある方針になっているのですが、当初イメージしていた人材育成の基本方針という点からいくと、教員の育成はこれだけではないというところがあります。教員として求められる能力があつて、専門性、協働性が大きく掲げられていますけれども、たくさんの能力が求められるので、広い名称の方針でいいのかなど、引き続き検討していただきたいと思います。要望です。

○委員

これは要望ですけれども、学校にいい先生を呼んで研究授業を実施をしたいけれども、そこには予算がついてくると思います。先生を育成するために、いい先生に来てもらって話をしたりとか、研修をしたりということを行う予算を配慮いただきたいと思いま

す。

○委員 学習指導力とか生活指導力、進路指導力、学校運営力など具体的な備えるべき力が挙げられておりますけれども、なかなかそこまで至っていない人もいますので、ある程度区民の方々も読み取れるように、もう少し丁寧な形でまとめていただければと思います。要望です。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第7を議題とします。

(日程第7 区独自教材「Welcome to Meguro」の活用について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第8を議題とします。

(日程第8 平成30年成人の日のつどいについて(案))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
以上で本日の定例会を閉会します。

(午前11時17分閉会)